

東京工業高等専門学校	開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	電子工学特別演習Ⅱ
科目基礎情報				
科目番号	0066	科目区分	専門 / 選択	
授業形態	演習	単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	電子工学科	対象学年	3	
開設期	後期	週時間数	2	
教科書/教材	プリント等			
担当教員	大塚 友彦,水戸 慎一郎,小池 清之			

到達目標

【目的】本授業の目的は、電子工学科の人材育成の目的に掲げる1)基礎学力育成、2)考えながらものづくりができる能力育成、3)専門能力育成のうちの1つを選択し、各種の演習、実験または実習を通じてその能力を向上させることを目的とする。

【到達目標】

次のいずれか1つの目標を選択肢、選択した目標を達成する。

1. 電気回路の演習を通じてその基礎を修得することができる。
2. 電磁気学の演習を通じてその基礎を修得することができる。
3. 考えながらものづくりするための基礎力を修得することができる。

ループブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	電気回路の応用問題を解くことができる。	電気回路の基礎問題を解くことができる。	電気回路の基礎的問題の解き方を説明できない。
評価項目2	電磁気学の応用問題を解くことができる。	電磁気学の基礎問題を解くことができる。	電磁気学の基礎的問題の解き方を説明できない。
評価項目3	考えながらものづくりを行い、基礎的な設計、試作、測定、考察を実践できる。	考えながらものづくりを行うことができる。	考えながらものづくりを行うことができない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	本授業の目的は、電子工学科の人材育成の目的に掲げる1)基礎学力育成、2)考えながらものづくりができる能力育成、3)専門能力育成のうちの1つを選択し、各種の演習、実験または実習を通してその能力を向上させることを目的とする。
授業の進め方・方法	プリントや板書き等の説明に従って授業を進める。
注意点	特になし。

授業計画

[illegible]

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の工学実験・実習能力	電気・電子系分野【実験・実習能力】	電気・電子系【実験実習】	直流回路論における諸定理について実験を通して理解する。	3	
				交流回路論における諸現象について実験を通して理解する。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他（レポート、小テスト等）	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	100	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0